



平成 20 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社りそなホールディングス
代 表 者 名 代表執行役社長 檜垣 誠司
(コ ー ド 番 号 8308 東証・大証 各市場第 1 部)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 20 年 5 月 16 日に公表した業績予想(第 2 四半期連結累計期間並びに通期)を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

(金額の単位：億円)

平成 21 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間 連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

	経常収益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	5,200	1,200	1,500	13,163円45銭
今回発表予想 (B)	5,100	350	850	7,463円36銭
増減額 (B - A)	100	850	650	
増減率 (%)	1.9	70.8	43.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	5,513	1,275	1,202	10,550円40銭

平成 21 年 3 月期通期 連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	経常収益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	10,500	2,700	2,500	18,417円44銭
今回発表予想 (B)	10,000	1,500	1,600	10,568円83銭
増減額 (B - A)	500	1,200	900	
増減率 (%)	4.8	44.4	36.0	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	11,144	2,337	3,028	23,690円6銭

2. 修正の理由

平成 21 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間

最近の金融市場の混乱、並びに国内外の景況感の悪化等を受け、傘下銀行の業績が予想を下回る見込みとなった事から、経常収益 経常利益 中間純利益のそれぞれについて、前回発表予想比で下方修正するものです。

平成 21 年 3 月期通期

第 2 四半期連結累計期間の実績のほか、景気 市場環境など当面の経営環境の不透明性等を勘案し、経常収益 経常利益 当期純利益のそれぞれについて、前回発表予想比で下方修正するものです。

尚、詳細につきましては、第 2 四半期決算発表時にお知らせいたします。

【参考】

1. 傘下銀行合算の業績予想

平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間

- ・傘下銀行合算の実勢業務純益については、市況の悪化等に伴い、投資信託販売や不動産業務に係る手数料収入が低調となりましたが、経費の一段の削減に努めた事から、前回発表予想比微減（20 億円）の 1,630 億円となる見込みです。
- ・一方、与信費用については、一部業種、大口先を中心とした償却引当が増加した事から、前回発表予想比 +1,050 億円の 1,270 億円となる見込みです。
- ・以上により、傘下銀行合算の税引前中間純利益は 1,410 億円（前回発表予想比 965 億円）、税引後中間純利益は 710 億円（前回発表予想比 705 億円）となる見込みです。

（金額の単位：億円）

	傘下銀行				合算（概算）	前回発表予想比	前年同期比
	りそな	埼玉りそな	近畿大阪	りそな信託			
業務粗利益	2,165	795	300	145	3,410	135	17
経費（ ）	1,145	365	215	60	1,780	115	+ 2
実勢業務純益（注）	1,020	430	85	85	1,630	20	20
株式関係損益	30		5		20	20	+ 81
与信費用総額（ ）	1,050	185	35		1,270	+ 1,050	+ 1,132
税引「前」中間純利益	1,060	240	10	85	1,410	965	77
税引後中間純利益	（平成17年度より連結納税制度を採用しております）				710	705	507

（注）「実勢業務純益」は、信託勘定不良債権処理、一般貸倒引当金繰入前の業務純益

平成 21 年 3 月期通期

- ・傘下銀行合算の実勢業務純益については、第 2 四半期の実績見込のほか、景気、市場環境の悪化など当面の経営環境を踏まえて見直し、前回発表予想比 230 億円の 3,150 億円を予想しております。
- ・与信費用についても、第 2 四半期の実績見込のほか、企業業績の先行き不透明感等を踏まえて見直し、前回発表予想比 + 920 億円の 1,520 億円を予想しております。
- ・以上により、傘下銀行合算の税引前当期純利益は 2,730 億円（前回発表予想比 1,110 億円）、税引後当期純利益は 1,590 億円（前回発表予想比 740 億円）を予想しております。

（金額の単位：億円）

	傘下銀行				合算（概算）	前回発表予想比	前年同期比
	りそな	埼玉りそな	近畿大阪	りそな信託			
業務粗利益	4,300	1,590	655	295	6,840	370	160
経費（ ）	2,330	765	470	130	3,690	140	+ 69
実勢業務純益（注）	1,970	825	185	165	3,150	230	228
株式関係損益	30		10		40	+ 40	+ 498
与信費用総額（ ）	1,200	230	90		1,520	+ 920	+ 1,133
税引「前」当期純利益	1,960	560	40	165	2,730	1,110	291
税引後当期純利益	（平成17年度より連結納税制度を採用しております）				1,590	740	1,011

（注）「実勢業務純益」は、信託勘定不良債権処理、一般貸倒引当金繰入前の業務純益

2. リソナホールディングス単体の業績予想

- ・リソナホールディングス単体については、平成21年3月期第2四半期累計期間、並びに平成21年3月期通期とも平成20年5月16日に公表した業績予想を修正いたしません。
- ・公表済の業績予想は以下の通りです。

(金額の単位：億円)

	平成21年3月期第2四半期累計期間	平成21年3月期通期
営業収益	500	1,800
営業利益	400	1,700
経常利益	400	1,700
当期(中間)純利益	500	1,900

3. 金融再生法基準開示債権(傘下銀行合算)の見込

(金額の単位：億円)

(銀信合算)	平成20年9月末	平成20年3月末	増減
開示債権計(A)	7,200	5,991	+1,208
破産更生債権等	970	741	+229
危険債権	4,114	3,428	+686
要管理債権	2,115	1,822	+292
正常債権	260,488	266,620	6,131
総与信(B)	267,689	272,611	4,922
不良債権比率(A)(B)	2.68%	2.19%	+0.49%

4. その他有価証券の評価差額(傘下銀行合算)の見込

(金額の単位：億円)

	平成20年9月末		平成20年3月末		増減	
	取得原価	評価差額	取得原価	評価差額	取得原価	評価差額
その他有価証券(注)	67,797	1,015	59,385	1,722	+8,411	707
債券	58,871	593	51,044	299	+7,827	294
株式	3,774	1,793	3,825	2,049	51	255
その他	5,151	184	4,515	27	+635	157

(注) 有価証券のほか、現金預け金、中の譲渡性預け金、買入金銭債権、中のコマーシャルペーパー、信託受益権を含む

5. 証券化商品の保有状況と評価損益 (傘下銀行合算) の見込

(金額の単位 : 億円)

	残高	評価損益
海外組成		
サブプライム関連	サブプライムローンに関連する投融資残高はなし	
国内組成	2,852	17
裏付資産 国内	2,852	17
住宅ローン	2,356	13
商業用不動産	185	3
その他	311	1
裏付資産 海外		
合計 (注)	2,852	17
平成 20 年 3 月末比	386	4

(注) 金融商品会計に関する実務指針(平成19年7月4日改正)において有価証券として取り扱われるもののほか、直接保有する証券化商品全てを対象とし、発行体の信用ではなく特定資産のキャッシュフローを裏付に発行された証券化商品、企業の債務のキャッシュフローを裏付とする債務担保証券、及びこれらを裏付とする再証券化商品を含む

サブプライムローン関連資産を裏付資産とする証券化商品のほか、サブプライムに関連するSPE(SIV、ABCP、コンデュイット等)・クレジットデリバティブに対する投融資、およびモノライン保険会社との取引を含めてサブプライムローンに関連する投融資はございません。

りそな銀行がスポンサーを務めているABCPプログラムの保有資産は国内のお客さまの売掛債権・手形債権・診療報酬債権を対象としており、サブプライムローン関連資産は含まれておりません。りそな銀行は上表以外に、当該ABCPプログラムにより発行された短期社債(平成20年9月末残高384億円、評価差額0.3億円)を、売買目的有価証券として保有しております。

尚、米国政府系機関保証債、並びに米国支援機関発行債は保有しておりません。

以上